

Pioneer

マルチ CD/MD コントロール
チューナー CD デッキアンブ

FH-P44

取扱説明書

carrozzeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

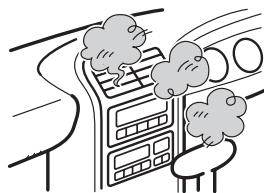
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- | | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 6 |
| 2 | 別売のリモコンを使う | 7 |
| 3 | 本機の操作の基本 | 8 |
| 4 | 本機のリセットについて | 10 |
| 5 | バッテリー上がりを防ぐために | 10 |
| 6 | ミュート機能について | 11 |

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ
電源を切る | 12 |
| 2 | CDのふだんの操作
CDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
CDを取り出す | 14 |
| 3 | テープのふだんの操作
テープを再生する
再生する面を選ぶ
音量を調節する
テープを取り出す | 16 |
| 4 | ラジオのふだんの操作
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する | 18 |
| 5 | マルチCDのふだんの操作
CDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する | 20 |

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

- | | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 演奏方法を切り換える | 22 |
| 2 | CDのタイトルを記憶させる | 24 |
| 3 | タイトルを表示させる | 26 |

ラジオ ラジオを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 28 |
| 2 | 記憶させた放送局を呼び出す | 29 |
| 3 | モードの切り換えかた | 30 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 31 |
| 5 | 放送局名を記憶させる | 32 |
| 6 | 放送局名を表示させる | 33 |

テープ テープを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 早送り/巻き戻しや頭出しをする | 34 |
| 2 | モードの切り換えかた | 35 |
| 3 | 同じ曲を繰り返し聞く | 35 |
| 4 | 聞きたい曲を探す | 36 |
| 5 | 長い無音部分を自動的に早送りする | 37 |
| 6 | ドルビー B NRでテープを聞く | 37 |

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|--------------------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12 枚) | 38 |
| 2 | おおまかに選んでから
聞きたいCDを選ぶ (50 枚) | 38 |
| 3 | モードの切り換えかた | 39 |
| 4 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 40 |
| 5 | 聞きたい曲やCDをさがす | 41 |
| 6 | いつもと違う曲順で聞く | 42 |
| 7 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 43 |
| 8 | 記憶させた曲だけ再生する | 44 |
| 9 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 45 |
| 10 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 45 |
| 11 | CDをグループ分けする (50 枚) | 46 |
| 12 | グループ別で再生する (50 枚) | 47 |
| 13 | CDをグループから消す (50 枚) | 47 |
| 14 | CDのタイトルを記憶させる | 48 |
| 15 | タイトルの頭文字で
CDをさがす (50 枚) | 50 |
| 16 | タイトルを見て
聞きたいCDをさがす | 51 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

17	CD再生を一時停止する	51
18	CDの音質を調整する	52
19	表示を切り換える	53
20	演奏頻度でCDを再生する (50枚)	54
21	選んだCDを取り出す (50枚)	55

音の調節

音を調節する

1	オーディオ調節モードの切り換えかた	56
2	前後左右の音量バランスを調節する	57
3	小音量時の音にメリハリをつける	57
4	低音を調節する	58
5	高音を調節する	58
6	サブウーファーを使う	59
7	各ソースの音量の違いをそろえる	60
8	前にステージがあるような感じにする	61
9	音楽に合った音質を設定する	62

便利な機能

便利な機能と初期設定

1	サイドバー表示を切り換える	64
2	スペアナ表示を切り換える	65
3	よく使う機能を学習する	66
4	交通情報を受信する	68
5	時計、カレンダーを表示させる	69
6	瞬時に音量を小さくする	69
7	初期設定モードの切り換えかた	70
8	時計を合わせる	71
9	日付を合わせる	71
10	外部機器の音声を聞く	72
11	外部機器の名称を入力する	73
12	RCA外部出力から 出力される信号を選ぶ	73
13	テレビのときに オートアンテナをのばす	74
14	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	75

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

テープを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

便利な機能と初期設定

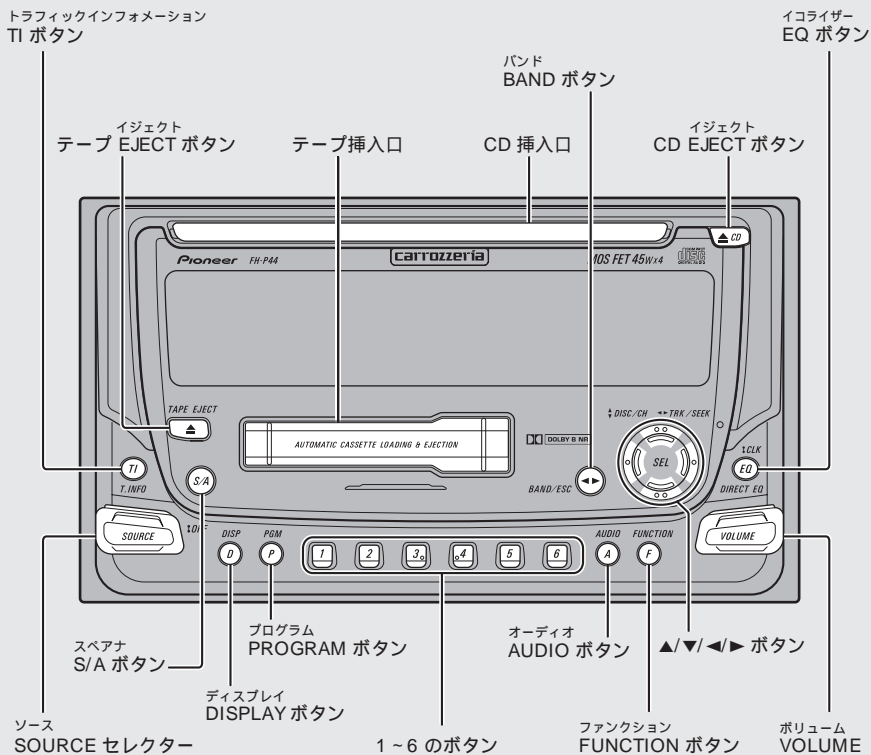
その他 (付録)

その他

その他 (付録)

1	CDの正しい使いかた	76
2	テープの正しい使いかた	78
3	保証書とアフターサービス	79
4	故障かな?と思ったら	80
5	こんなメッセージが表示されたら	83
6	おもな仕様	84

本機「FH-P44」



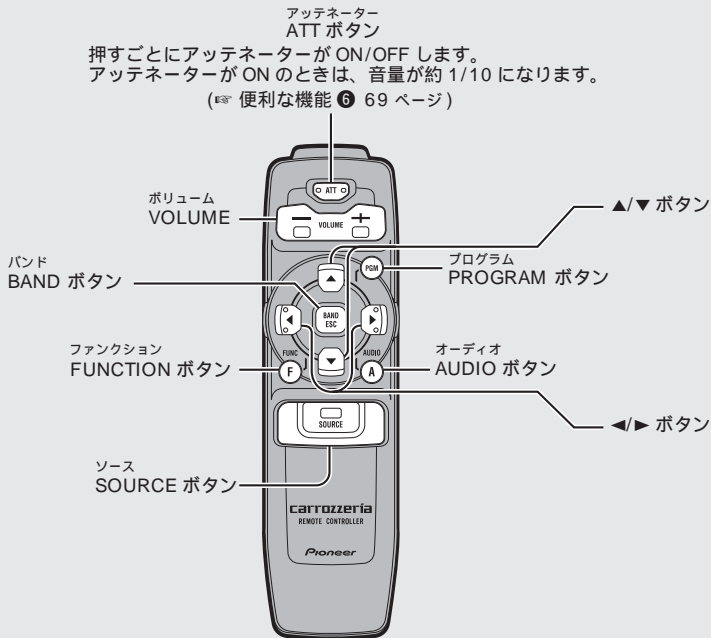
デモモードについて

電源がOFFのときに6のボタンを押す
(もう一度押すと終了)

ディスプレイ上にデモンストレーションが表示されます。

別売のリモコン「CD-R600」について

別売のリモコン「CD-R600」で、本機を操作することができます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

PROGRAM ボタンについて

よく使う機能をソースごとに、PROGRAM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵 CD でポーズ、ラジオで BSM、テープでドルビー B NR、マルチ CD でポーズが学習されています。)(Ⓔ 便利な機能 ③ 66 ページ)

本機の操作の基本

本機を操作するとき、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBAND ボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	テープを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	早送り/巻き戻し、頭出し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMD を接続している場合のみ)	—————	記憶させた放送局の切り換え
BAND ボタン	—————	再生方向 (A面/B面) の 切り換え	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには4つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード
1	それぞれの モードにする	FUNCTION ボタンを押す	FUNCTION ボタンを2秒 以上押す	電源がOFFのとき に、FUNCTIONボ タンを2秒以上押す	AUDIOボタンを 押す
2	機能を切り換える	FUNCTIONボタンを押す			AUDIOボタンを 押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す			
		◀または▶ボタンを押す			
4	それぞれの モードを解除する	BANDボタンを押す			

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵CDのリピート再生 (☞ 内蔵CD① 22ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD⑤ 41ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード** : CDのタイトル入力 (☞ 内蔵CD② 24ページ) やPROGRAM (学習) ボタンの記憶 (☞ 便利な機能③ 66ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ 便利な機能⑩ 72ページ) やディママー (☞ 便利な機能⑭ 75ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節② 57ページ) など、音質に関する調節ができます。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例

内容



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。



◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。



▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。

はじめに

4

本機のリセットについて

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

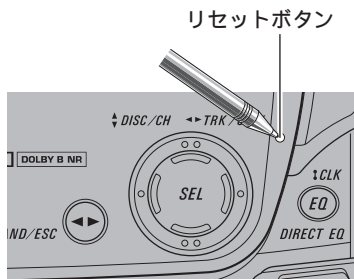
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



はじめに

5

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9000」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”になります。

ミュート機能が解除されると、自動的に、もとの音量に戻ります。

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE セレクターを上 (または下) に押す

SOURCE セレクターを上または下に押しすごとに次のように切り換わります。

内蔵 CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

テープ

1 枚型 MD (別売)

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

External (エクスターナルユニット)

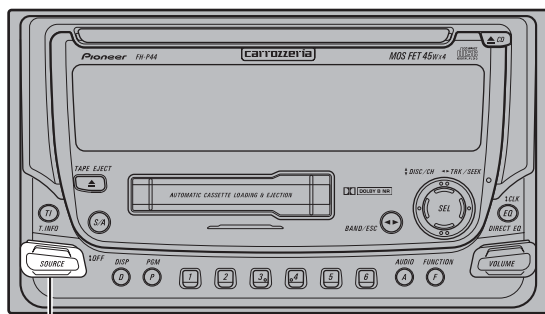
AUX (外部機器) (別売)

内蔵 CD に戻る

SOURCE セレクターは上下どちらに押し

2 電源を切る

SOURCE セレクターを上 (または下) に 1 秒以上押しつづける
本機の電源が切れます。



ソース
SOURCE セレクター

メモ

接続していないソースには切り換わりません。CDやテープがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能⑩ 72ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。

External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機でExternal (エクスターナルユニット) としてコントロールできる製品は1台だけです。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオまたはテレビにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。(☞ 便利な機能⑬ 74ページ)

テレビ、1枚型MD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7700W」
1枚型MD	「MDS-P7000」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

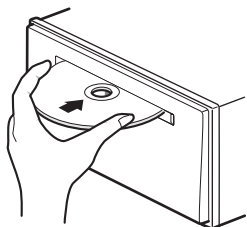
ここだけで **2** CD のふだんの操作

CD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ
(または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやテープなど) に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 12ページ)

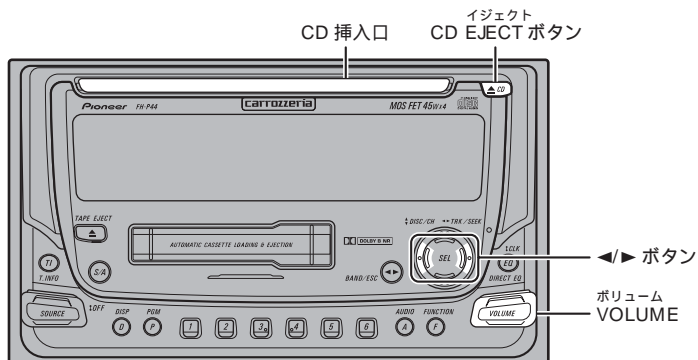
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を 調節する

VOLUME を上 (または下) に押す

上に押す : 大きくするとき

下に押す : 小さくするとき



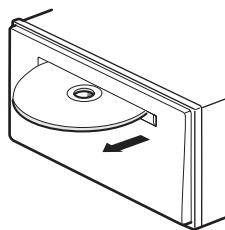
音量は 0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 CD を取り出して CD 再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CD が出てきて、電源が OFF になります。



出てきた CD はすぐに取り出して、保管してください。

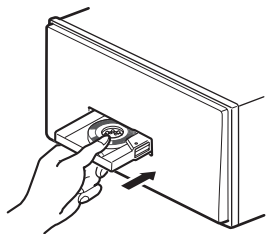
ここだけで 3 テープのふだんの操作

テープを再生する 再生する面

ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

1 テープを再生する

テープ面を右にして、テープ挿入口に差し込む



テープの再生が始まります。



再生経過時間

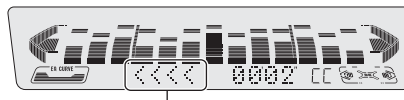
2 再生する面を選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



上にした面を再生



下にした面を再生

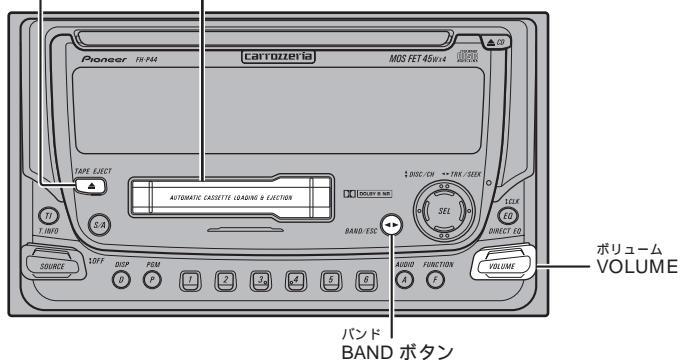
メモ

再生時間カウンターは、テープを再生している時間をカウントしていますので、テープが早送り/巻き戻しされている間は、カウントが止まります。再生時間カウンターは、次のときにリセットされ、“0”に戻ります。

- * テープを入れ換えたとき
- * 再生面が切り換わったとき
- * テープが先頭まで巻き戻されたとき

テープをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやCDなど）に切り換えることもできます。（※ここだけで 12 ページ）
メタル/クロームテープをセットすると、“METAL”が約2秒間表示されます。

イジェクト
テープ EJECT ボタン テープ挿入口



3 音量を調節する

VOLUME を上 (または下) に押す

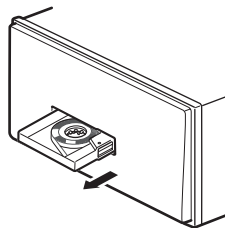
上に押す : 大きくするとき
下に押す : 小さくするとき



音量は 0 ~ 30 の範囲で調節できます。
約 4 秒間、音量が表示されます。

4 テープを取り出して再生をやめる

テープ EJECT ボタンを押す
CD が出てきて、電源が OFF になります。



出てきたテープはすぐに取り出して、
保管してください。

ここだけで **4** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

SOURCEセクターを上（または下）に押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを
選ぶ

BANDボタンを押す

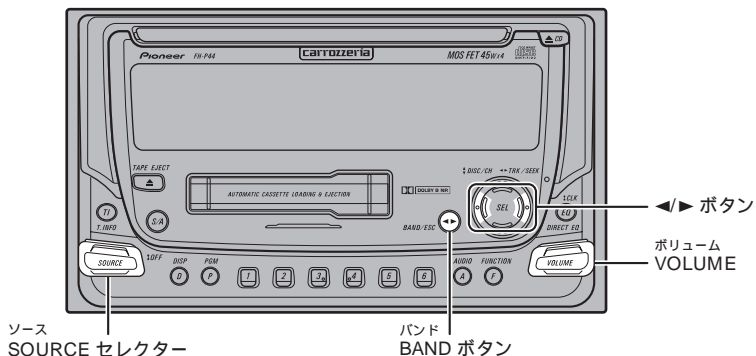
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



F1 (FM1)	F2 (FM2)
A2 (AM2)	A1 (AM1)

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。（ ラジオ**14** 28、31ページ）

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒未満
自動選局	0.3秒 ~ 2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し 続けている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

VOLUMEを上 (または下) に押す

- 上に押す : 大きくするとき
- 下に押す : 小さくするとき



音量は0 ~ 30の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 12ページ)

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCEセクターを上（または下）
に押す

マルチCDの再生が始まります。



2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



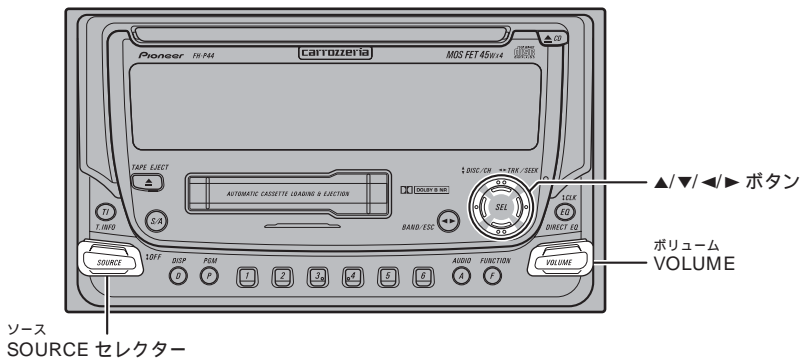
CD番号

メモ

マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG.”が表示されます。



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 音量を 調節する

VOLUMEを上(または下)に押す

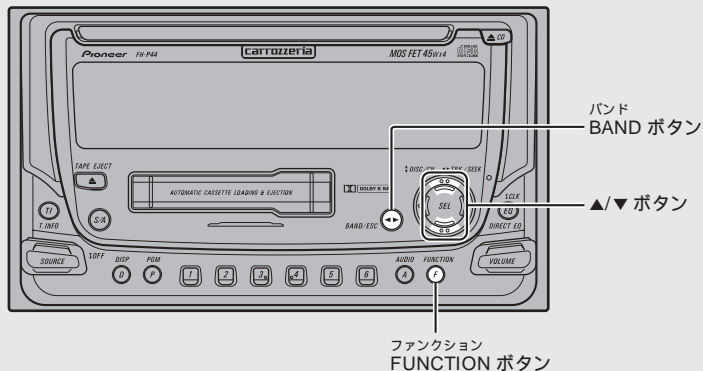
上に押す: 大きくするとき
下に押す: 小さくするとき



音量は0~30の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 12ページ)



内蔵CD 1 演奏方法を切り換える

内蔵のCDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

ランダムモード

トラックスキャンモード

ポーズモード

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

2 選んだ演奏方法をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

ファンクションモードについて

リピートモード (REPEAT)

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

ランダムモード (RANDOM)

選曲を内蔵CDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

トラックスキャンモード (T.SCAN)

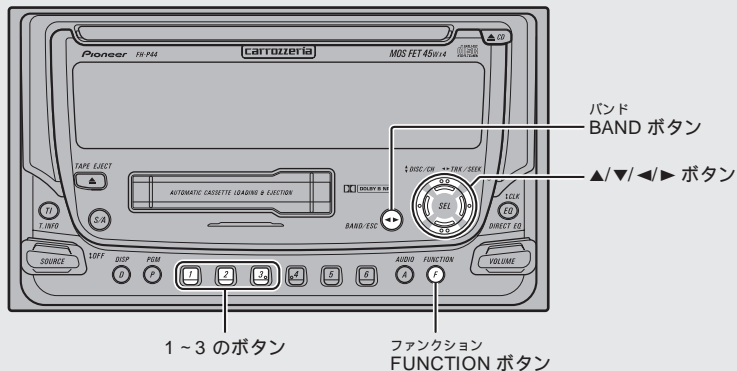
曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにしてください。(スキャン再生を始めて約30秒たつと、ファンクションモードが自動的に解除されます。この場合、再度トラックスキャンモードに切り換えてから、スキャン再生をOFFにしてください。)

ポーズモード (PAUSE)

CD再生を一時停止します。

メモ

スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的にOFFになります。



内蔵CD

2

CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (内蔵CD 26 ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

本機の内蔵CDは「CD TEXT」(マルチCD 53 ページ)には対応していませんので、「CD TEXT」を再生している場合でも、通常のCDと同様に好みのタイトルを入力して記憶・表示させることができます。

マルチCDを組み合わせて使用する場合は、タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤーで再生している場合、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルが表示され、好みのタイトルを入力することはできません。(内蔵CDで再生中に記憶させたタイトルを表示させることはできません。)

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(※ ここだけで② 14 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2 秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき

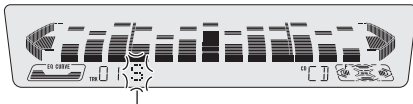


入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1 ボタン (1 ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2 ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3 ボタン (3 ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

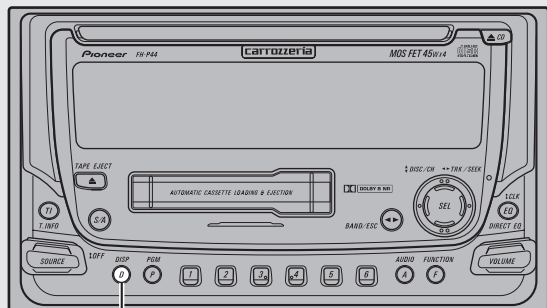


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、タイトル入力モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

内蔵CD

3

タイトルを表示させる

タイトル表示

タイトル入力 (☞内蔵CD 24 ページ) で記憶させたCDのタイトルを、表示させることができます。

タイトル表示について

再生経過時間表示は、ランダム、トラックスキャン再生を行うと、それぞれのON/OFFの状態を示す表示に変わります。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル表示

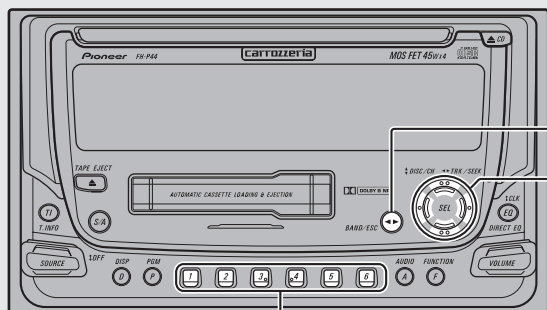


入力したタイトル

再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。



1~6のボタン

ラジオ
1

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1~6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

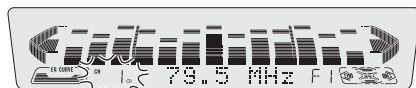
BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 19ページ)

3 記憶させる

1~6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで④ 18 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

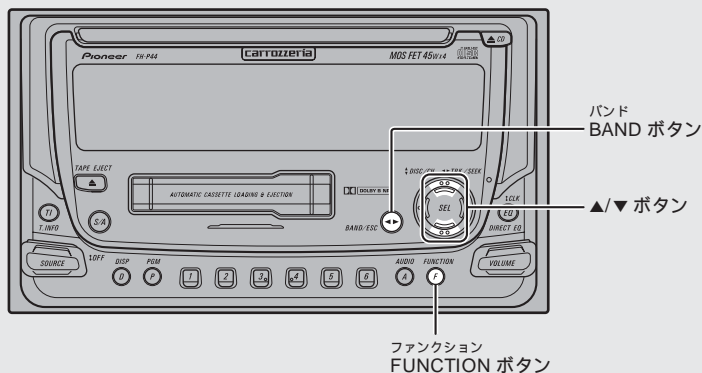
▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す
BSM モードになります。
(ラジオ④)

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名モード
(ラジオ⑤ 32 ページ)

プログラムファンクション設定モード
(便利な機能⑥ 66 ページ)

放送局名モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

複数の放送局を
自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで④18ページ)

2 BSM モードにする

FUNCTION ボタンを押す

(☞ ラジオ③)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

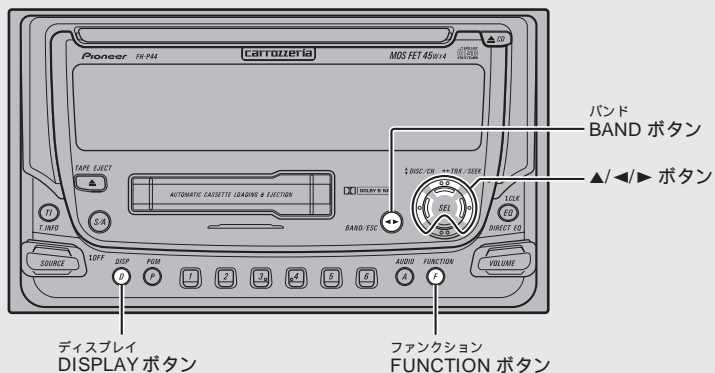
メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

BSMはPROGRAMボタンで操作することもできます。PROGRAMボタンを2秒以上押しすと、BSMが始まります。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②29ページ)



ラジオ 5 放送局名を記憶させる

放送局名記憶

ラジオの放送局名を表示させる (ラジオ⑥) ために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。

放送局名表示について

放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。

記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消去されます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ラジオ⑤ ここだけで④ 18 ページ)

2 放送局名を表示させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(ラジオ⑤ ここだけで④ 19 ページ)

3 放送局名モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(ラジオ⑤ 30 ページ)



約2秒間表示されます。

放送局名記憶で記憶させた放送局名を表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

5 放送局名を記憶させる

- ▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM653など」)をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

放送局名表示



記憶した放送局名が表示されます。

受信周波数表示

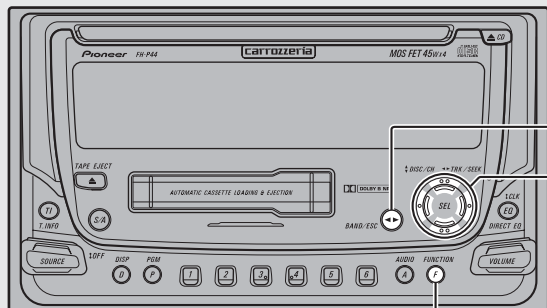


受信周波数

放送局名表示に戻る

メモ

放送局名が記憶されていない周波数は、放送局名表示には切り換わりません。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀▶ ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

テープ 1 早送り/巻き戻しや頭出しをする

早送り/巻き戻し / 頭出し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。また、次の曲の頭出しや、今聞いている曲の頭出しも簡単にできます。

テープを進めるとき

1 早送りや次の曲の頭出しをする

▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

FF (早送り)

F-MS (次の曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

テープを戻すとき

1 巻き戻しや今聞いている曲の頭出しをする

◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

REW (巻き戻し)

R-MS (今聞いている曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

メモ

早送り/巻き戻しや頭出しは、BAND ボタンを押しても途中で解除されます。

テープ 2

モードの 切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

(テープ ③)

スキャンモード

(テープ ④ 36 ページ)

ブランクスキップモード

(テープ ⑤ 37 ページ)

ドルビー B NRモード

(テープ ⑥ 37 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

テープ 3

同じ曲を 繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(テープ ②)



2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

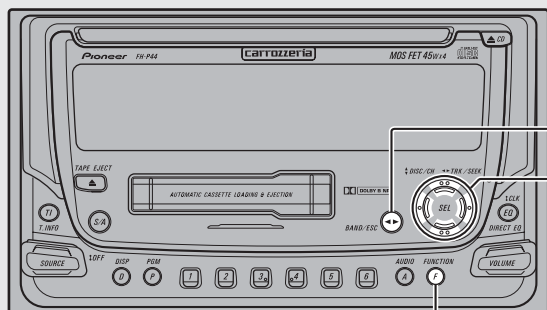


リピート再生中に表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

“RP” が表示されているときは、BAND ボタンを押してもリピート再生をOFFにできません。



バンド
BAND ボタン
▲/▼/◀/▶ ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

テープ 4 聞きたい曲を探す

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(テープ 35 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



スキャン中に点滅します。



スキャン再生中に表示されます。

聞きたい曲が再生されたら、BAND ボタンを押してスキャンをOFFにしてください。

テープ
5

長い無音部分を自動的に早送りする

ブランクスキップ

テープ再生中に、約12秒以上の無音部分(あき)があった場合、自動的に次の曲の始めまで早送りさせることができます。

1 ブランクスキップモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(▶ テープ ② 35 ページ)



2 ブランクスキップをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ブランクスキップがONのとき表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

テープ
6

ドルビー B NR でテープを聞く

ドルビー B NR

ドルビー B NR ON で録音したテープを聞くときは、本機もドルビー B NR を ON にしてください。

1 ドルビー B NR モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(▶ テープ ② 35 ページ)



2 ドルビー B NR をONにする

▶ ボタンを押す (◀ ボタンでOFF)



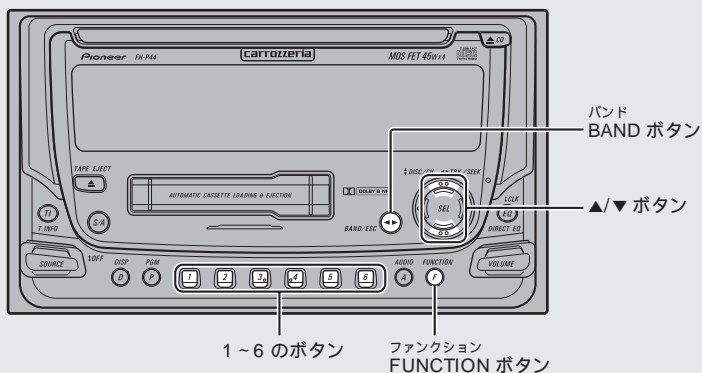
ドルビー B NR がONのとき表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

ドルビー B NR システムは、テープ再生中に生じる“サー”という雑音(ヒスノイズ)を減らすシステムです。

ドルビー ノイズリダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY およびダブルD記号はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。



マルチCD 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき
2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCD 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1 ~ 5 のボタンを押す

1：10 ~ 19枚目のCDを選ぶとき
2：20 ~ 29枚目のCDを選ぶとき
3：30 ~ 39枚目のCDを選ぶとき
4：40 ~ 49枚目のCDを選ぶとき
5：50、51枚目のCDを選ぶとき



CD番号

2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき
▼：前のCDを選ぶとき



CD番号

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。


ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード
( マルチCD ④ 40 ページ)


タイトルリストモード
( マルチCD ⑩ 51 ページ)

“ABC” ディスクタイトルサーチモード (50 枚)
( マルチCD ⑫ 50 ページ)

ランダムモード
( マルチCD ⑮ 42 ページ)

スキャンモード
( マルチCD ⑯ 41 ページ)

ITS再生モード
( マルチCD ⑳ 44 ページ)

ミュージックグループ別モード (50 枚)
( マルチCD ㉒ 47 ページ)

演奏頻度別モード (50 枚)
( マルチCD ㉔ 54 ページ)

ポーズモード
( マルチCD ㉖ 51 ページ)

COMP切り換えモード
( マルチCD ㉘ 52 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする


FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード
( マルチCD ⑭ 48 ページ)

ITS入力モード
( マルチCD ⑰ 43 ページ)

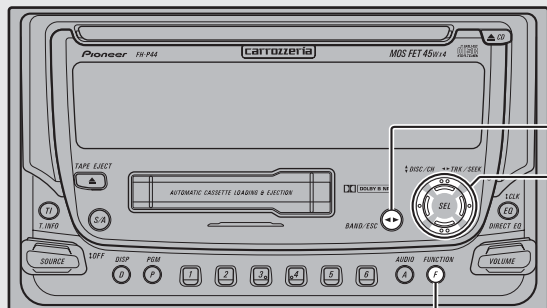
ミュージックグループ別入力モード (50 枚)
( マルチCD ㉑ 46 ページ)

プログラムファンクション設定モード
( 便利な機能 ③ 66 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。



ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ③ 39 ページ)



“DISC” “RP” “MCD”

トラックリピートのときは“RP”、ディスクリピートのときは“DISC”、マルチCDリピートのときは“MCD”が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (E マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は自動的にOFFになります。トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

2 スキャンモードにする

FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(E マルチCD④ 39ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ボタンを押す



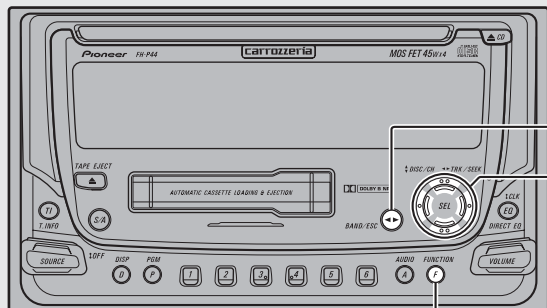
曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
T.SCN	ディスクリピート
D.SCN	マルチCDリピート



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲
を選ぶ (☞ マルチCD 40 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 39 ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

記憶させた曲だけ再生する (📖 マルチCD ⑧ 44 ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (📖 マルチCD ⑧ 44 ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (📖 マルチCD ⑩ 48 ページ)、グループ分け (📖 マルチCD ⑪ 46 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(📖 ここだけで ⑤ 20 ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(📖 マルチCD ⑨ 39 ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(📖 ここだけで ⑤ 21 ページ)

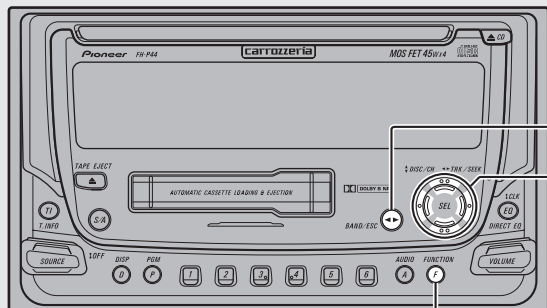
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 記憶 (☞ マルチCD ⑦ 43 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD ④ 40 ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ③ 39 ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

9

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(マルチCD ⑧)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

(ここだけで ⑤ 21 ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ④ 39 ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

10

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す

(ここだけで ⑤ 20 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(マルチCD ⑧)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ④ 39 ページ)



3 消去する

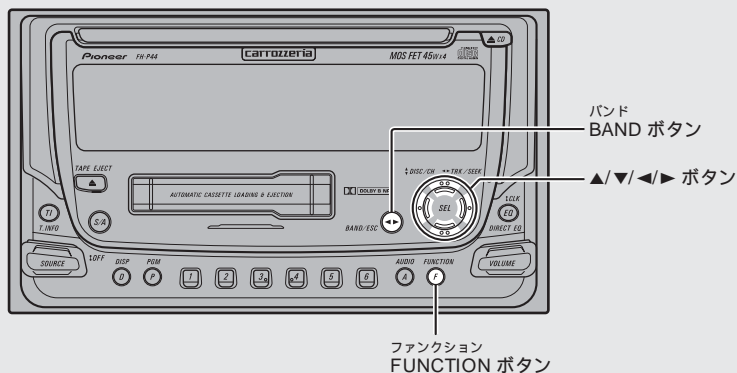
▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



マルチCD 11 CDをグループ分けする (50枚)

ミュージックグループ別記憶

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (M) マルチCD⑫のために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごとに記憶させておき、そのグループを再生する機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、タイトル (M) マルチCD⑬ 48ページ)、ITS (M) マルチCD⑭ 43ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 グループ分けしたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(M) ここだけで⑤ 20ページ)

2 ミュージックグループ別入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押ししてから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(M) マルチCD③ 39ページ)



約2秒間表示されます。

3 グループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだグループが点滅します。
次のようなグループがあります。

ROCK1	ROCK2	POPS1
POPS2	JAZZ	FUSION
CLASSIC	GROUP1	GROUP2
GROUP3		

4 記憶させる

▲ボタンを押す



一度点滅が止まり、記憶したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

グループ別で再生する (50 枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (E3 マルチCD①) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50 連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 ミュージックグループ別モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD② 39 ページ)



2 聞きたいグループを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



選んだグループが表示されます。

3 ミュージックグループ再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



ミュージックグループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ミュージックグループ別再生中に表示されます。

メモ

手順2で選んだグループに、CDが記憶されていない場合は、“MG EMPTY” が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

CDをグループから消す (50 枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50 連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す
(E3 ここだけで⑤ 20 ページ)

2 ミュージックグループ別入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD③ 39 ページ)



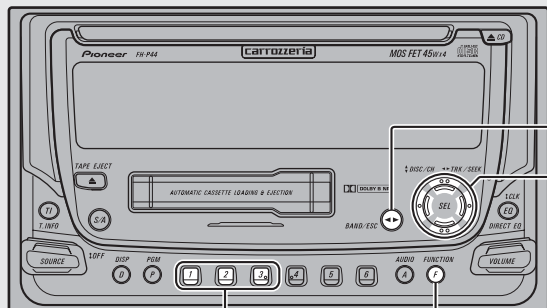
3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



1~3のボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 14 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD ⑩ 53ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ マルチCD ⑩ 51ページ)、ABCディスクタイトルサーチ (※ マルチCD ⑩ 50ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」 (※ マルチCD ⑩ 53ページ) に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト (※ マルチCD ⑩ 51ページ) をすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (※ マルチCD ⑦ 43ページ)、グループ分け (※ マルチCD ⑪ 46ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで⑨ 20ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD ⑨ 39ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

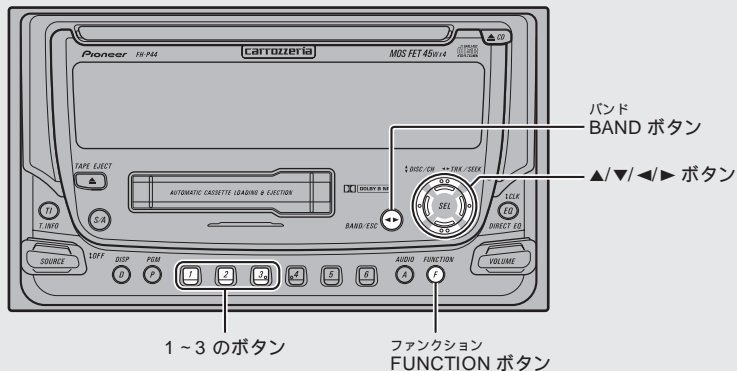


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 15 タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)

“ABC” ディスクタイトルサーチ

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 “ABC” ディスクタイトル サーチモードにする

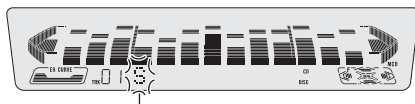
FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD ③ 39ページ)



約2秒間表示されます。

2 タイトルの頭文字を選ぶ

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲：次の文字を選ぶとき
- ▼：前の文字を選ぶとき



選ばれている頭文字が点滅します。

入力時と同様に、1～3のボタンの1つを押すと、選べる文字が切り換わります。

- 1のボタン：アルファベットなど
- 2のボタン：記号など
- 3のボタン：カタカナなど

詳しくは (マルチCD ④ 48ページ)

3 聞きたいタイトルを選ぶ

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶：次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀：前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが CD番号が
表示されます。 点滅します。

4 選んだタイトルのCDを 再生する

- ▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ボタンを押すと解除され、手順2に戻ります。
選んだ頭文字がない場合は、“NO TITLE”が約8秒間点滅表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD 39 ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが CD番号が
表示されます。 点滅します。

3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

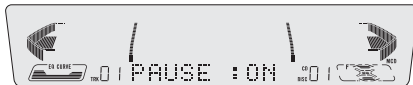
FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD 39 ページ)



2 CD再生を一時停止する

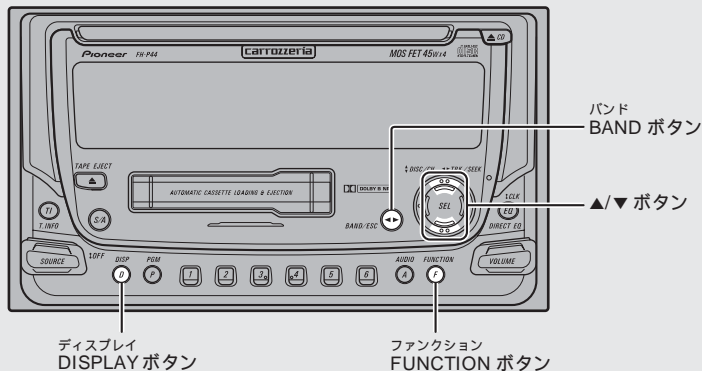
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



マルチCD 18 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション)の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ③ 39ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

表示を切り換える

表示切り換え

入力したタイトル (P.38 マルチCD⑭ 48ページ)、グループ (P.38 マルチCD⑮ 46ページ)、「CD TEXT」に収録されたタイトルなどを表示させることができます。「CD TEXT」のタイトルは一度に10文字まで表示できます。10文字を超える場合は、隠れている文字を順に表示させることもできます。

表示を切り換える

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

再生経過時間表示



タイトル表示



グループ表示 (50 枚)



再生経過時間表示に戻る

メモ

グループ表示は、50連奏マルチCDプレーヤーで再生しているときのみ切り換わります。タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”や“NO GROUP”が表示されます。

「CD TEXT」の表示を切り換える

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など)の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、ディスク名/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名) 表示

ディスクアーティストネーム (歌手名) 表示

トラックタイトル (曲名) 表示

トラックアーティストネーム (歌手名) 表示

再生経過時間表示に戻る

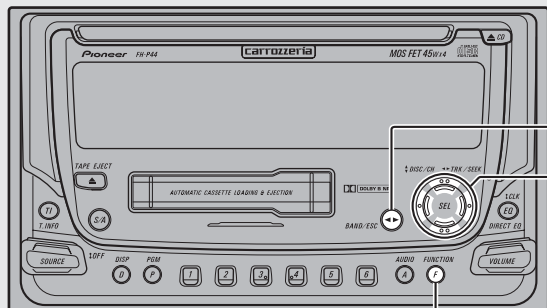
2 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す

隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

トラックアーティストネームなどが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO TA.NAME”などが表示されます。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 20 演奏頻度でCDを再生する (50枚)

演奏頻度別再生

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (MOST) または、あまり聞かないCD順 (LEAST) に再生する機能です。

1 演奏頻度別モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ③ 39 ページ)



2 頻度を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : MOST (よく聞くCD順) を選ぶとき
- ◀ : LEAST (あまり聞かないCD順) を選ぶとき



選んだ頻度が表示されます。

3 頻度別再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



演奏頻度別再生が始まり、頻度別にCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



演奏頻度別再生中に表示されます。

選んだCDを
取り出す (50枚)

CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 取り出したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

( ここだけで⑤ 20ページ)

2 CDをエクストラトレイに
移動する

BAND ボタンを2秒以上押す



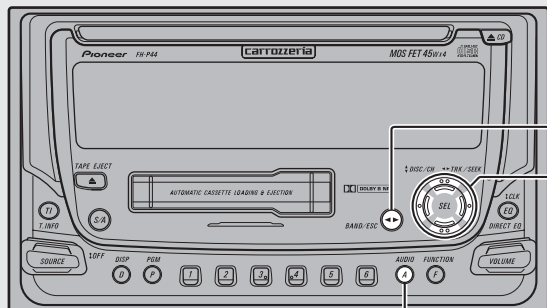
CDの移動中は、CD番号が点滅します。

3 CDをエクストラトレイから
取り出す

CDの取り出し方については、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは、動作しません。



BAND
ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節

1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (E38 音の調節②)

低音調節モード

(E38 音の調節④ 58 ページ)

高音調節モード

(E38 音の調節⑤ 58 ページ)

ラウドネスモード

(E38 音の調節③)

サブウーファーモード ^{1 2}

(E38 音の調節⑥ 59 ページ)

サブウーファー調節モード ¹

(E38 音の調節⑥ 59 ページ)

FIE モード

(E38 音の調節⑧ 61 ページ)

SLA モード ³

(E38 音の調節⑦ 60 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

²RCA 外部出力の設定 (E38 便利な機能⑫ 73 ページ) をフロント出力にした場合は、サブウーファーモードには切り換わりません。

³ラジオの FM 放送を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節①)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。


BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節①)



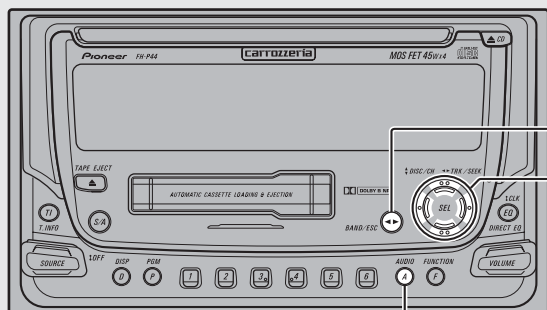
2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節 4 低音を調節する

バス

ソースごとに低音 (バス) を強めたり、弱めたりすることができます。

1 低音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節① 56 ページ)



2 低音を調節する

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : 低音を強めるとき
- ▼ : 低音を弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

内蔵 CD とマルチ CD、1 枚型 MD とマルチ MD は同じ設定になります。
交通情報 (便利な機能④ 68 ページ) も 1 つのソースとして設定できます。

音の調節 5 高音を調節する

トレブル

ソースごとに高音 (トレブル) を強めたり、弱めたりすることができます。

1 高音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節① 56 ページ)



2 高音を調節する

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : 高音を強めるとき
- ▼ : 高音を弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

内蔵 CD とマルチ CD、1 枚型 MD とマルチ MD は同じ設定になります。
交通情報 (便利な機能④ 68 ページ) も 1 つのソースとして設定できます。

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子にRCAコードを使って接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

カットオフ周波数について

50、80、125 (単位: Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ① 56 ページ)



2 サブウーファー機能をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



4 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (単位: Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

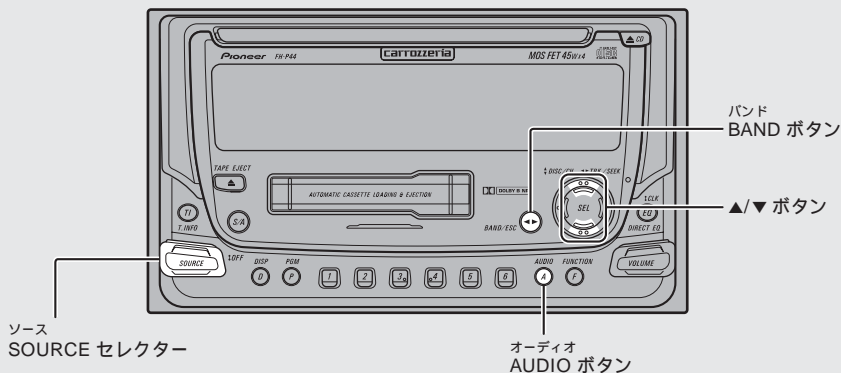


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

サブウーファー機能をOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。



音の調節

7

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE セレクターを上（または下）に押す（☞ ここだけで④ 18 ページ）

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE セレクターを上（または下）に押す（☞ ここだけで① 12 ページ）

3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
（☞ 音の調節① 56 ページ）



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、テープ、MD、AUX（外部機器）、External（エクスターナルユニット）のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMD、およびAMと交通情報（☞ 便利な機能④ 68 ページ）は同じ設定になります。

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ① 56 ページ)




2 FIE を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



FIE が ON のときに表示されます。

3 前後の音量バランスを調節する ( 音の調節 ② 57 ページ)

FIE を ON にすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

ご注意

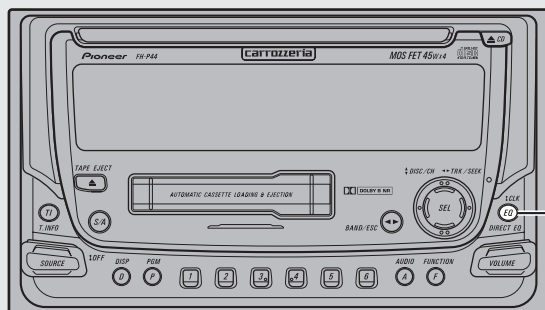
FIE を OFF にするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIE を OFF にすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

FIE とは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。

2 スピーカーシステムをお使いの方は、FIE を OFF にしてください。

イコライザー
EQ ボタン

音の調節

9

音楽に合った音質を設定する

ダイレクトイコライザー

音楽ジャンルに合わせて設定されているもの3種類と何の補正もされていないもの1種類の中から、イコライザーカーブを選ぶことができます。

FLATについて

FLAT

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確かめるのに使くと便利です。

VOCAL



FLAT



1 イコライザーカーブを切り換える

EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BASS



選んだイコライザーカーブが表示されます。

約2秒間表示されます。

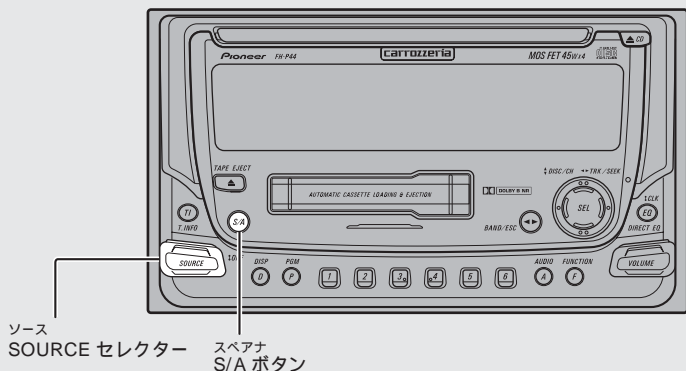
HEAVY BASS



BASSに戻る

メモ

イコライザーカーブは、ソースごとに選ぶことができます。内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDは同じ設定になります。交通情報 (E) 便利な機能④ 68 ページ) も1つのソースとして設定できます。



便利な機能 1 サイドバー表示を切り換える

サイドバー表示

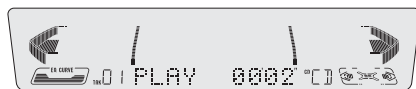
各ソースを聞いているときに、3種類のサイドバー表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCE セレクターを上（または下）に押す（☞ ここだけで① 12 ページ）
スピーカーから音が出力されている状態にします。

2 サイドバー表示を切り換える

S/A ボタンを2秒以上押す
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。
ランニングインジケーター



常時点灯 (全点灯)



スピーア連動

現在選択しているスピーア表示（☞ 便利な機能②）と連動して点灯します。

ランニングインジケーターに戻る

メモ

スピーア表示（☞ 便利な機能②）をインディにしているときは、サイドバー表示を切り換えることができません。

スペアナ表示を切り換える

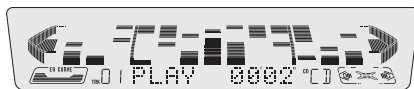
各ソースを聞いているときに、7種類のスペアナ表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCE セレクターを上 (または下) に押す (☞ ここだけで① 12 ページ)

スピーカから音が出力されている状態にします。

アップアンドダウン



インディ

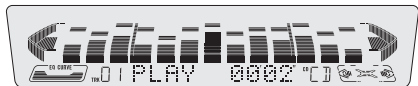


2 スペアナ表示を切り換える

S/A ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

ピークバウンド



イコライザーカーブ

現在設定されているイコライザーカーブ (☞ 音の調節⑨ 62 ページ) が表示されます。

例) BASS 表示



レインフォール



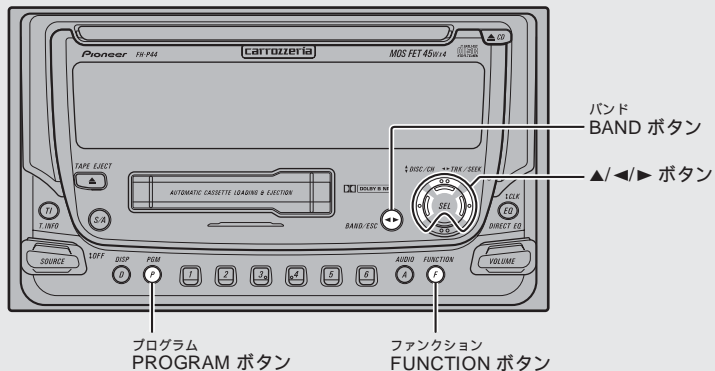
ピークバウンドに戻る

クロス



L&R





便利な機能 3 よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、PROGRAM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵CDでポーズ、ラジオでBSM、テープでドルビー B NR、マルチCDでポーズが学習されています。)

内蔵CDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ



約2秒間表示されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BAND ボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

4 学習させた機能进行操作する

PROGRAM ボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	ON/OFF	---
ランダム	ON/OFF	---

プログラムファンクション (つづき)

ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PROGRAMボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM	OFF	ON

テープのとき

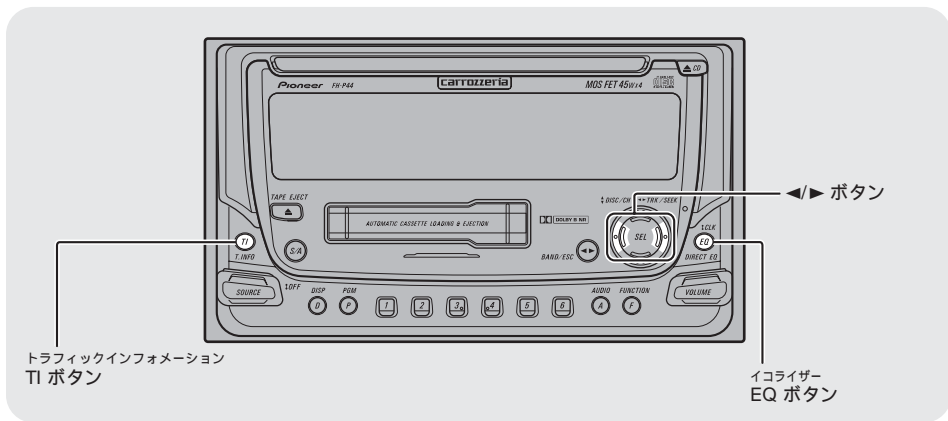
テープで学習できる機能と、PROGRAMボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ドルビー B NR	ON/OFF	---
ブランクスキップ	ON/OFF	---
リピート	ON/OFF	---

マルチCDのとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、FUNCTIONボタンを2秒以上押して詳細設定モードにしてから、FUNCTIONボタンで選びます。(E38 マルチCD 39ページ) マルチCDで学習できる機能と、PROGRAMボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	---
リピート	切り換え	---
ランダム	ON/OFF	---
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	---
ITS	記憶	再生



便利な機能 4 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。

時計、カレンダーを 表示させる

時計表示 / カレンダー表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

1 時計またはカレンダーを選ぶ

EQ ボタンを2秒以上押す

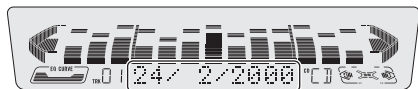
ボタンを2秒以上押すごとに次のように切り換わります。

各ソースの表示

時計表示



カレンダー表示



日/月/年が表示されます。

各ソースの表示に戻る

メモ

時計表示、カレンダー表示のときに他の操作をすると、時計表示、カレンダー表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります。

時計を合わせるには (☞ 便利な機能⑧ 71ページ)

カレンダーを合わせるには (☞ 便利な機能⑨ 71ページ)

瞬時に音量を 小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を 小さくする

リモコンのATTボタンを押す

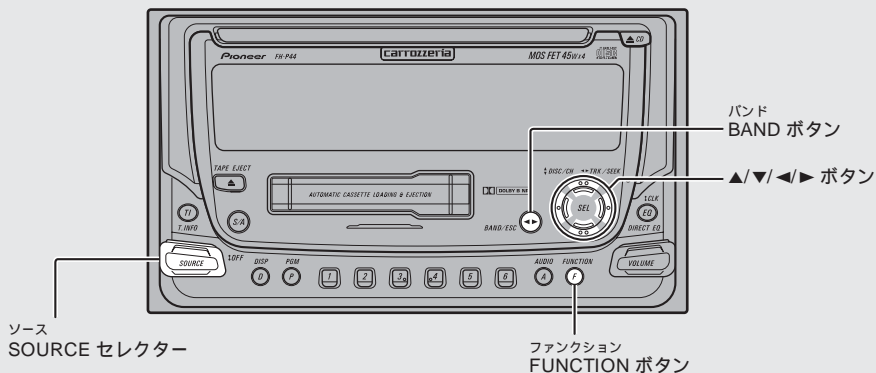
(☞ はじめに② 7ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



便利な機能

7

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE セレクターを上 (または下) に 1 秒以上押す
(☞ はじめに ① 12 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計モード (☞ 便利な機能 ⑧)

カレンダーモード (☞ 便利な機能 ⑨)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能 ⑩ 72 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能 ⑫ 73 ページ)

オートアンテナモード
(☞ 便利な機能 ⑬ 74 ページ)

ディマーモード (☞ 便利な機能 ⑭ 75 ページ)

時計モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

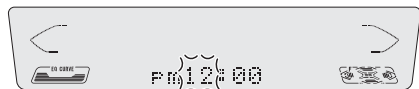
時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押す

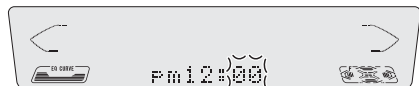
(☞ 便利な機能⑦)



2 時計の設定をする

時、分を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



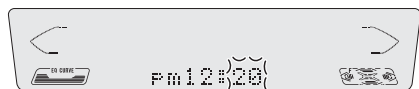
押すごとに時、分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を遅らせるとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

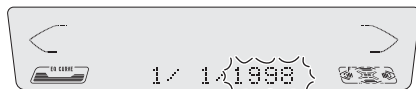
日付を合わせる

カレンダー

日付を合わせることができます。

1 カレンダーモードにする

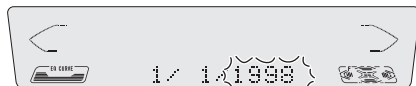
電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能⑦)



2 年月日の設定をする

日、月、年を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



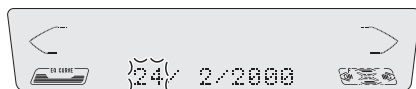
押すごとに日、月、年が切り換わります。

日付を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：数字が増加します

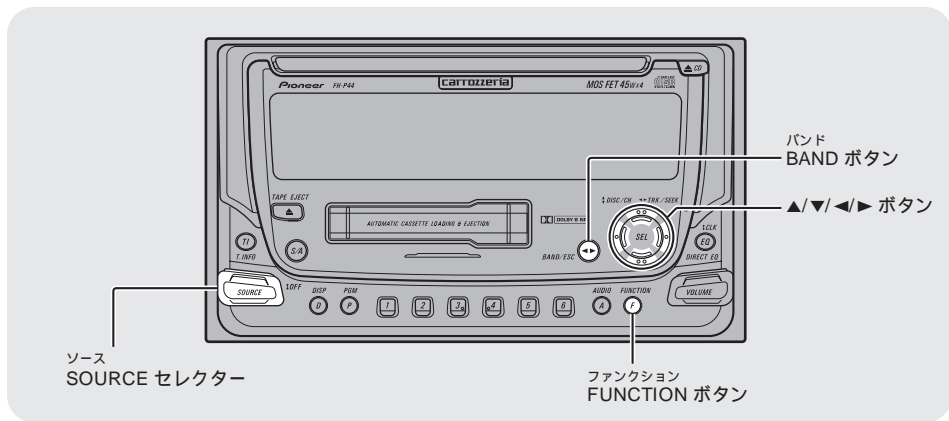
▼：数字が減少します



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

年は1998年～2097年までの範囲内で設定できます。



便利な機能 10 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

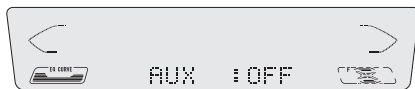
外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器)モードにする

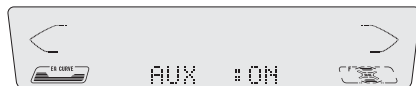
電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑦ 70ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEセレクターを上 (または下) に押す (☞ ここだけで① 12ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCEセレクターを上（または下）に押す（☞ ここだけで① 12ページ）



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

（☞ 内蔵CD② 24ページ）

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

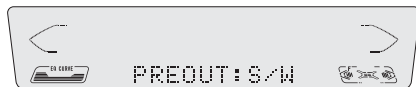
RCA外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

1 RCA外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

（☞ 便利な機能⑦ 70ページ）



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

◀または▶ ボタンを押す

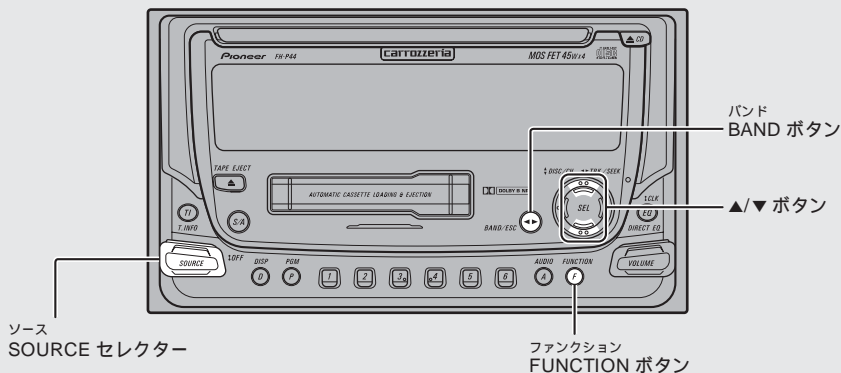
- ▶ : (S/W) サブウーファーを接続するとき
- ◀ : (FRT) フロントスピーカーを接続するとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

フロントスピーカーに設定したときは、サブウーファアの調節（☞ 音の調節⑥ 59ページ）はできません。



便利な機能 13 テレビのときにオートアンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7.0型ワイドAVシステムTV「AVX-P7700W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

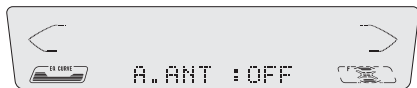
設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

1 オートアンテナモードにする

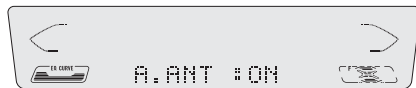
電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能 70 ページ)



2 オートアンテナの設定をONにする

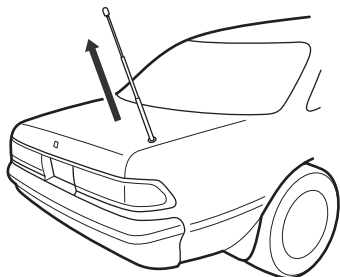
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする

SOURCEセレクターを上 (または下) に押す (☞ ここだけで 12 ページ)



オートアンテナがのびるようになります。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

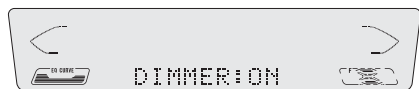
ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。

1 ディマーモードにする

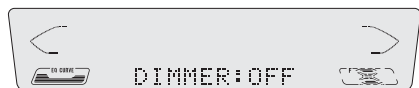
電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(▶▶ 便利な機能⑦ 70ページ)



2 ディマーの設定をOFFにする

▼ ボタンを押す (▲ ボタンでON)



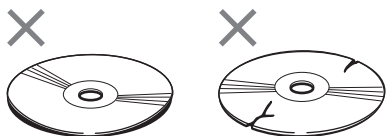
BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

使用できるCDについて

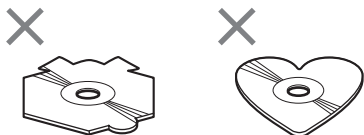
下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

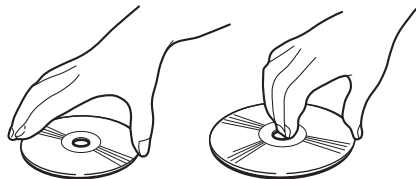


CDレコーダーで記録したCD-Rディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



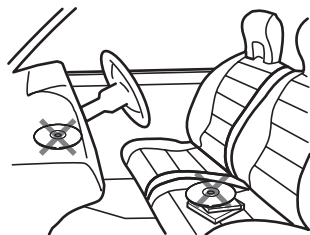
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



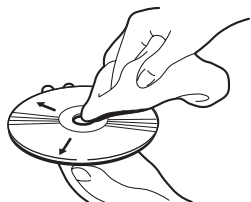
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

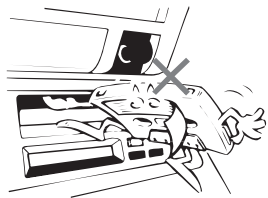
寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

テープの正しい使いかた

ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。

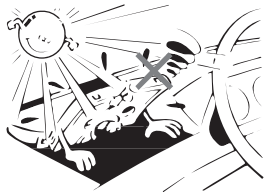


C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1~2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店で買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてく
ださい。(☞ はじめに④ 10
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他③ 79ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 15、17、19、21ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能⑥ 69ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 57ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 57ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 57ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 77 ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 77 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 14 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)

テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 (☞ テープ① 34ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。 良くなればテープの不良です。
	ドルビー B NRが正しく働いていない。	録音したときのドルビー NRと、本機のドルビー B NRのON/OFFを合わせてください。(☞ テープ⑥ 37ページ)
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 (☞ その他② 78ページ)
頭出し、リピート再生、およびスキャン再生が正しく働かない。	曲と曲の間の“あき”が4秒以上ない。	“あき”が4秒以上のテープを使用してください。
	会話のように、音の途切れている部分が4秒以上続いている。	このような録音内容のテープでは、“あき”があると判断してしまうため、頭出し、リピート再生、およびスキャン再生が正しく働かないことがあります。
	曲の途中で、非常に小さな音が4秒以上続いている。	
テープをセットしても再生が正しく働かない	テープが切れているか、からみついている	テープを交換してください。
音が出ない	録音されていないテープを使っている	録音してあるテープと交換してください。

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

CDのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (<small>▶</small> その他 77 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音し ないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してから お使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考 えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、CD再生を一 度やめてから、もう一度CD再生にし てください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

トーン
 コントロール : バス : ± 12 dB (100 Hz)
 トレブル : ± 12 dB (10 kHz)

サブウーファー
 クロスオーバー
 周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz

サブウーファー
 クロスオーバー
 スロープ : - 12 dB/oct

サブウーファー
 ゲイン : ± 12 dB

ラウドネス
 コンター : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30 dB)

負荷
 インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)
 プリアウト
 最大出力レベル : 1.6 V
 出力インピー
 ダンス : 1 k

テープデッキ部

使用テープ
 バック : コンパクトカセット
 (C-30 ~ C-90)

テープ速度 : 4.8 cm/sec.
 早送り/
 巻き戻し時間 : 約 100 秒 (C-60)
 回転ムラ : 0.09 % (WRMS)
 再生周波数特性 : メタルテープ :
 30 ~ 19,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ
 セパレーション : 45 dB
 S/N : メタルテープ :
 DOLBY B NR IN
 67 dB (IHF-A ネットワーク)
 DOLBY NR OUT
 61 dB (IHF-A ネットワーク)

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム
 使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線
 周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
 S/N : 92 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
 レンジ : 91 dB (1 kHz)
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 11 dBf (1.0 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 16 dBf
(1.7 μ V/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
155 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 96 (H) \times 14 (D) mm
質量 : 2.3 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00B00F0V01 > < CRA2973-A >